

社会における法の役割

3) 学校は、ルールを学ぶ場

- ・学校……家庭から社会へ踏み出す、最初の一步 学校は、官僚機構なのか社会なのか
- ・学校のルールは、社会のルールと一致していることが望ましい cf校則
- ・法は自分を守ってくれる/法は必要/法は正義 といった感覚が身につくことが大切

□0□ 講師自己紹介

はしづめ だいさぶろう

1948年神奈川県生まれ。東大大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。執筆活動を経て、現在、東京工業大学大学院社会学研究科・価値システム専攻教授。社会学者。著書……『言語ゲームと社会理論』『仏教の言説戦略』『現代思想はいま何を考えればよいか』『その先の日本国へ』『選択・責任・連帯の教育改革【完全版】』(以上、勁草書房)、『言語派社会学の原理』(洋泉社)、『冒険としての社会科学』(毎日新聞社)、『橋爪大三郎の社会学講義』『回2』(夏目書房)、『小室直樹の学問と思想』(共著、弓立社)、『民主主義は最高の政治制度である』(現代書館)、『はじめの構造主義』(講談社現代新書)、『こんななにかに困った北朝鮮』(メタローグ)、『自分を活かす思想/社会を生きたる思想』、『正義・戦争・国家論』『天皇の戦争責任』(以上、共著、径書房)、『ゾーゲル、日本とアジアを語る』(共著、平凡社新書)、『幸福のつくりかた』(ポット出版)、『世界がわかる宗教社会学入門』(筑摩書房/ちくま文庫)、『強いサラリーマン、へたばる企業』(共著、廣済堂出版)、『「心」はあるのか』(ちくま新書)、『日本人は宗教と戦争をどう考えるか』(共著、朝日新聞社)、『政治の教室』『人間にとって法とは何か』『アメリカの行動原理』(以上、PHP新書)、『永遠の吉本隆明』(洋泉社新書Y)、『隣のチャイナ』(夏目書房) ほか。
http://www.valdes.titech.ac.jp/~hashizm/

□1□ 法とは何か

- 1) 法は、強制力をもつ。
 - ・なぜ、強制力をもつか 物理的実力だから? 法は正しいから?
 - ・人びとが、法を正しいと思い、承認し、支持する ⇒ 強制力
- 2) 法は、ルールである。
 - ・人びとのふるまいは秩序(規則=ルール)に従う 言葉/行為/…
 - ・契約: 意識できるルール 意識できないルールもある
- 3) 法は、1次ルールと2次ルールの結合である。
 - ・ハート『法の概念』の定式 1次ルール⇒言及⇒2次ルール ルール～言語ゲーム
 - ・1次ルール: 責務を課すルール 2次ルール: 承認の…/裁定の…/変更のルール

□2□ 社会における法とは何か

- 1) 社会はルールできている 社会=Σ言語ゲーム=Σルール
 - ・社会を生きたる……ルールを身につけ、ルールに従って生きる
 - ・宗教法: ルールに従うことは宗教的義務 世俗法: ルールに従うことは人間の義務
- 2) 近代市民社会
 - ・すべての法は、根拠が明確で、合理的でなければならない 社会契約 憲法
 - ・根拠が明確で、合意にもとづく法を作り出す装置としての、議会

□3□ 法教育はどうあるべきか

- 1) 知識でなく行動
 - ・法を身につける～法感覚を身につける～法にもとづいて行動する
 - ・法を意識し、法にもとづいて行動できることが、法教育
 - 2) 生徒間紛争の解決
 - ・いじめ 持ち物を尊重/嫌なことを言ったり書いたりしない/勉強をじやまさない
 - ・ルール違反 ⇒ 象徴的制裁措置……居残り/軽作業/権利停止
 - ・盗難 生徒Aが「生徒Bが千円を返さない」と校長に直訴→校長は生徒Aに千円を返す→生徒Bは、校長に千円を返さざるをえなくなる(例)
 - 3) 法の役割演技
 - ・学校のなかで、法が活きていた、という体験は貴重な財産
 - ・法の役割演技
 - ・法が大事な役割を果たす場面を、実際に体験してみる(事前の予行演習)
- 問題点……役割演技では、財産も生命も威信も、大切なものが賭けられていない